

「大阪・関西万博」1000日前 記念シンポジウム



(提供：2025年日本国際博覧会協会)

2025年に開催予定の「大阪・関西万博」は、国内外から約2,800万人の来場者が見込まれるビッグイベント。

開幕まで3年を切り、1000日前にあたる7月18日に、万博に向けての機運醸成を目的としたシンポジウムを開催します。

また、新たなモビリティとして

期待される「空飛ぶクルマ」の

機体展示も併せて実施！



ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs

私たちのフィールド、私たちのSDGs

7.18 月 祝 14:00~16:00 (受付 13:30~)

会場 兵庫県立美術館ギャラリー棟1階 ミュージアムホール

(神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1(HAT神戸内)) 阪神電車「岩屋」駅から徒歩8分、JR「灘」駅から徒歩10分、ほか

プログラム ※当日の内容は、後日オンライン配信予定

基調講演 14:00~14:30

1

ひょうごフィールドパビリオンの展開

~万博が生み出す活力を取り込むための兵庫の戦略~

兵庫県知事 齋藤元彦

パネルディスカッション 14:30~16:00

テーマ フィールドパビリオンの展開による地域活性化

2

コーディネーター：橋爪紳也(大阪公立大学研究推進機構特別教授)

パネリスト：齋藤元彦(兵庫県知事) / 石川路子(甲南大学学長補佐 / 社会連携機構長 / 経済学部教授)

上村敏之(関西学院大学経済学部教授) / 平櫛武(キタイ設計(株)事業開発本部グループリーダー)

地域の活動状況報告：谷口正友(農事組合法人アイガモの谷口代表理事(新温泉町))

田中誠貴(田中一之刃物製作所(三木市))

同時開催

「空飛ぶクルマ」の機体展示

新たなモビリティとして期待される「空飛ぶクルマ」の機体(有人試験機SD-03)の特別展示を、株式会社 SkyDriveの協力を得て、同時開催。

会場 県立美術館ギャラリー棟1階「アトリエ1」(ミュージアムホール隣)



©SkyDrive

プロフィール

齋藤元彦(兵庫県知事)



兵庫県神戸市生まれ。2002年東京大学経済学部卒業。同年総務省入省。2008年佐渡市企画財政部長、2010年佐渡市総合政策監、2011年飯館村政府現地対策室、2013年宮城県総務部市町村課長、2014年宮城県財政課長、2016年総務省自治税務局都道府県税課課長補佐、2017年総務省自治税務局都道府県税課理事官、2018年大阪府財務部財政課長、2021年3月大阪府・総務省退職。2021年8月兵庫県知事(第53代)。

橋爪紳也(大阪公立大学研究推進機構特別教授)



大阪市生まれ。京都大学大学院工学研究科修士課程、大阪大学大学院工学研究科博士課程修了。大阪市立大学都市研究プラザ教授、大阪府立大学特別教授等を経て現職。建築史・都市文化論専攻。工学博士。大阪府特別顧問、大阪市特別顧問。イベント学会副会長。IRゲーミング学会副会長。日本観光研究会賞、日本建築学会賞、日本都市計画学会石川賞等を受賞。2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の誘致構想案の策定にあって中心的な役割を担う。『大阪万博の戦後史』『瀬戸内海モダニズム周遊』『日本の遊園地』ほか著書多数。

石川路子(甲南大学学長補佐/社会連携機構長/経済学部教授)



広島県生まれ、兵庫県赤穂市育ち。神戸大学大学院修了後、都市計画コンサルタントとして勤務した後、大阪大学大学院にて博士(国際公共政策)学位を取得。その後、近畿大学経済学部講師、甲南大学経済学部准教授等を経て、2016年4月より現職。専門は地域経済学。ゼミでは学生とともに地域と学生をつなぐプロジェクトを数多く企画・展開している。2022年4月からは社会連携機構長として大学の地域連携・社会貢献活動を推進している。主な学外委員は、兵庫県「新ビジョン企画委員会(2021年度)」、神戸市「神戸2025ビジョン推進会議」(2022年1月～)など。

上村敏之(関西学院大学経済学部教授)



神戸市生まれ。1994年関西学院大学経済学部卒業。1999年関西学院大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。2000年博士(経済学)取得。東洋大学経済学部専任講師、その後助教授、准教授、関西学院大学経済学部准教授を経て、2008年から現職。専門は財政学、行財政運営。現在、内閣府民間資金等活用事業推進委員会委員、兵庫県地域創生戦略会議企画委員会委員長、兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化推進協議会企画委員会委員長など。『税と社会保障負担の経済分析』(租税資料館賞受賞)など著書多数。

平櫛武(キタイ設計(株)事業開発本部グループリーダー)



2000年大阪府立大学大学院農学生命科学研究科卒業(修士前期課程)、キタイ設計株式会社入社、技術部(土地改良事業、環境リサーチ・プランニング、里山防災事業、地方創生総合戦略策定等を担当)を経て、その後事業開発本部に所属。SDGsリーダーとして、はりまグリーンラボ、里山サバイバルクラブ等の地域プロデュースを進める一方で、兵庫県地域再生アドバイザー、ひょうご関係人口案内所(さとまちガイドラボ)事務局をつとめる。技術士(建設・農業部門)。

谷口正友(農事組合法人アイガモの谷口代表理事・新温泉町)

1967年浜坂町(現新温泉町)生まれ。「あいより、はじめの元に還る」を基本理念に、薬や化学肥料に頼らない「アイガモ」を用いた稲作を行い、捨てるもののない農業を実践。アイガモ農法以外でも、発酵資材、木酢液、酢などの自然資材を利用するほか、大豆、ねぎの無農薬栽培の実践や浜坂の地形を活かした再生可能エネルギーの活用にも取り組む。平成14年度農林水産大臣賞受賞。

田中誠貴(田中一之刃物製作所・三木市)

1977年三木市生まれ。兵庫県内の高校卒業後、福井県の伝統産業である越前打刃物の伝統工芸士のもとで包丁鍛冶の修行を行う。その後、実家の田中勉謙製作所を継ぎ、屋号を田中一之刃物製作所と改め四代目に就任。しばしも休まず鋸打つ響き。の歌の通りに手作業で一丁一丁鍛造包丁を作り上げ、古来の技術を守りながらも進歩的な包丁職人として、世界中の包丁愛好家にその名を轟かせている。

アクセス

兵庫県立美術館ギャラリー棟1階ミュージアムホール 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1(HAT神戸内)

ご来場の際は必ずマスクの着用をお願いいたします。当日の体温が37.5度以上の方は来場をお控えください。

駐車場

美術館駐車場|地下 利用時間|9:45~19:00
駐車台数|乗用車80台
駐車料金|1時間まで400円(以降30分毎200円)
施設利用割引2時間まで400円
(以降30分毎200円)
※駐車券をインフォメーションにご持参ください

鉄道(JR、阪急、阪神)

JR|
神戸線灘駅南口から南へ徒歩約10分
阪急電車|
神戸線王子公園駅西口から南西へ徒歩約20分
阪神電車|
岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南へ徒歩約8分



お問合せ 大阪・関西万博1000日前記念シンポジウム運営事務局(株神戸新聞事業社内)TEL 078-341-2567 mail banpaku@kobe-j.co.jp